

平成29年度 社会福祉法人 村上市社会福祉協議会事業報告

I 事業実施の概要

総務課・地域福祉課・生活支援課・介護事業課の4課体制で、それぞれ高い専門性を活かしながら各事業を進めるとともに、「誰もが安心して生活できる福祉のまちづくり」の推進に向けて課を超えた取組を進めてきた。

地域福祉課では、「誰もが安心して暮らすことができるまち」を目指して、地域での支えあいが広がるよう、平成29年度から委託を受けた「生活支援コーディネーター業務」と連動させながら、包括的な体制づくりを進めるため、より多くの団体・機関との連携を意識しながら活動してきた。また、それぞれの地域特性を認識し生活拠点である地域を視点に活動してきた。共同募金配分金で実施している地域福祉事業については、社会情勢の変動、要支援者の生活環境・ニーズ変化等を考慮し、事業内容を検討していく必要性を認識できた。

生活支援課では、貧困の連鎖を防ぐため困窮者世帯等の子どもの学習支援も取り入れた『生活困窮者自立支援事業』により、セーフティネットの砦として他専門機関と連携しながら、相談者個人および取り巻く地域・環境を包括して課題解決に向けての対応を図ってきた。新年度の法人後見事業も見据えた、権利擁護事業に対しても各関係機関から高い信頼性とその役割が期待されている。

介護事業課では、信頼される事業所となるために職員の資質向上を図りながら、一人でも多くの方が安心して在宅生活を継続できるように関係機関と連携を密にして事業を進めてきた。課題となる事業所経営については、サービスの向上を前提としながら介護事業全体を見据えた経営改革が求められており、関係方面との綿密な協議を持って改善していく必要がある。

以下、各事業について報告する。

《職員体制》

職員総数 **252名** (平成30年3月31日現在)

単位：名

部署	事務員			介護支援専門員		介護員・生活相談員		看護師		栄養士・調理員		運転員・労務員		計		
	特別職	正職員	臨時	正職員	臨時	正職員	臨時	正職員	臨時	正職員	臨時	正職員	臨時	特別職	正職員	臨時
法人	6	11	11											6	11	11
居宅介護支援				14	3									0	14	3
訪問介護						14	30							0	14	30
訪問入浴						1	4		1					0	1	5
通所介護						26	60	7	23	4	14	1	11	0	38	108
福祉センター			1										10	0	0	11
計	6	11	12	14	3	41	94	7	24	4	14	1	21	6	78	168

(兼務職員については、主たる部署・職種に掲載)

II 事業実施報告

《総務課》

<p>☆目標</p> <p style="text-align: center;">「地域福祉の推進」を命題に、多様な課題解決に向けて理事会・事業推進会議等が柱となって社会福祉協議会の基盤整備を図る。</p>
<p>◎重点取組事業</p> <p>(1) 組織の充実・強化</p> <p>① 理事会・評議員会他…法令遵守を前提とした適正な組織運営を行った</p>

- ・理事会（理事12名、監事2名）

6月6日	（村上市役所）	12名
6月26日	（村上市役所）	12名
11月27日	（村上市役所）	11名
2月5日	（村上市役所）	11名
3月14日	（クリエート村上）	12名
3月28日	（タウンホテル村上）	12名

- ・評議員会（19名）

6月21日	（村上市役所）	17名
12月20日	（村上市役所）	15名
3月28日	（タウンホテル村上）	15名

- ・正副会長会議 年間 12回開催
- ・監査会 5月22日
- ・事務局長・支所長会議 正副会長との合同会議 年間 12回開催

② 事業推進会議…課制の横断的な連携および事業の充実化を図るため、介護事業所を含めた事業推進会議を行った

事務局長・課長・係長合同会議	年間 1回開催
事業推進会議（係長・主任級合同会議）	年間 2回開催
係長会議	年間 4回開催
法人運営事業部会（連絡会議）	年間 2回開催
居宅介護支援事業部会	年間 5回開催
訪問介護事業部会	年間 5回開催
訪問入浴事業部会	年間 6回開催
通所介護事業部会 （センター長会議11回、看護部会5回、相談員部会6回、 介護員部会6回、栄養士部会3回）	

③ ワンストップ窓口…支所機能を継続し、地域に密着した窓口サービスに努めるとともに、担当課とのスムーズな連携を図り、ワンストップ対応に努めた。

④ 職員のモチベーションアップ

- ・臨時職員の定期昇給制導入…1年以上の従事者には毎年度昇給を実施
- ・業務手当の臨時職員全職種に対象拡大…これまで対象外であった運転員等にも手当支給
- ・福利厚生の実質化…福利厚生センター「ソウエルクラブ」に正職員並びに社会保険加入の臨時職員を加入
- ・隔年貸与だった介護事業所職員へのユニフォームを毎年貸与に緩和
- ・定期的な研修実施

≪役職員全体研修≫

10月20日	「情報セキュリティ」の重要性について（村上市）
11月22日	災害対策研修会（村上市）
2月20日	地域福祉活動計画に向けての研修会（村上市）

※各課の参加研修については【別表】を参照。

⑤ 会計事務

- ・新会計基準に基づき、適正な会計処理を実施（3カ月に1回、外部会計事務所による巡回監査）
- ・全支所・事業所の電話回線をひかり化に統一することで、通信運搬費の節減に努めた
- ・節減が見込まれる介護事業所の電力供給を小売業者に変更
- ・賠償責任保険等の全支所・事業所の統一化

⑥ マイクロバス管理事業

老人クラブ	6回	避難者サポートセンター	1回
身障連	7回	手をつなぐ育成会	1回
遺族会	2回	浦田の里保護者会	1回
民児協	4回	保護司会	1回
食推	1回	トライアスロン大会実行委員	1回
さけの森林づくり推進協	1回	社協事業（昼食会等）	5回
		合計	31回

⑦ ゆり花会館の指定管理事業

年間利用者数 64,943名

（前年度比 △1,485名）

⑧ 苦情解決…第三者委員会開催の事案はなかった

(2) 財政基盤の強化

① 会費

会員の加入状況

会員種別	会員数	前年度比
一般会員	14,603件	△7件
個人賛助会員	780件	△76件
法人等賛助会員	374件	△3件
計	15,757件	△86件

② 公費助成

公費種別	内容	補助金額
経常経費補助金（共募除く）	法人人件費等	88,675,000円
受託金	受託事業（市・県）	49,159,725円

③ 基金の運用

基金種別	内容	金額
社会福祉基金	地域福祉事業の実施等	9,026,510円
事業運営安定積立金	経営安定化	46,000,000円

(3) 広報啓発事業の充実

① 広報紙およびホームページの拡充

	内容
広報紙「社協むらかみ」	年間6回発行（偶数月15日付で全戸配布）
ホームページ	7,292カウント（H29.4.1～H30.3.31）

② 社協パンフレットの作成

社協の事業内容等をまとめた概要版パンフレットを作成。詳細版については校正中
ホームページ上でもダウンロードできるように設定

③ 各種研修会・大会等への参加促進

・各種研修会に参加（【別表】参照）

・村上地域社会福祉大会の開催 10月1日「ふれ愛フェスティバル」
（村上市民ふれあいセンター）

○ オープニングアトラクション：村上市互近所ささえ～る隊「お互いさまの地域づくり」

○ 福祉大会表彰（計15名）

○ 記念公演：佐藤ひらりさん トーク&ミニコンサート

来場者数約1,000人

6月23日	ふれ愛フェスティバル内容検討会	（神林支所）
7月24日	ふれ愛フェスティバル打ち合わせ会議	（神林支所）
8月9日	「福祉まつり部門」内容検討委員会	（クリエート村上）
8月21日	ふれ愛フェスティバル「第1回実行委員会」	（神林支所）
9月21日	ふれ愛フェスティバル「第2回実行委員会」	（神林支所）
9月25日	ふれ愛フェスティバル「スタッフ&出店者会議」	（神林農村改善センター）
9月30日	ふれ愛フェスティバル準備	（村上市民ふれあいセンター）
10月26日	ふれ愛フェスティバル「反省会」	（神林支所）

(4) 地域福祉活動計画の策定（4課共通）

① 地域福祉活動計画の策定

平成31年度からの実施に向け、平成30年度中の策定に取り組んでいる

9月12日	新潟医療福祉大学准教授 青木 茂氏へ策定にかかる アドバイザーを依頼
10月4日	アドバイザーとの初回打合せ（新潟医療福祉大学）
11月14日	局長・課長・係長会議にて、策定プロジェクトチームを編成
12月19日	先進地視察（燕市社協） 局長・課長・係長参加
2月20日	役職員研修会実施（アドバイザーによる研修開催） 99名/254名 参加
2月5日	理事会で、計画策定の議決をもらう
3月7日	アドバイザーとの第2回打合せ（新潟医療福祉大学）
3月28日	策定委員会設置要綱（案）を理事会・評議員会へ提案し、 ともに議決をもらう

(5) 災害に備えた体制づくり（4課共通）

① 実地訓練の実施

5月27日 荒川水防訓練に参加。災害ボランティアセンターの設置訓練を行った

② 行政との連携

③ 各関係団体との連携

④ 地域との連携

・県社協事業の一つである、「災害アドバイザー派遣事業」を活用し、行政および各団体へ

呼びかけを行い、災害時の協働を目的とした「災害時ネットワーク検討会」を開催。
今後も連携を継続し、災害時支援に向けたネットワーク構築を図っている。

11月22日	社協役職員および関係団体向けの全体研修会開催 114名 参加
12月5日	関係団体（区長代表・民児協代表・行政・NPO法人・老人クラブ・いわふね青年会議所・社協）から成るコアメンバーによる第1回災害時ネットワーク検討会開催 15名 参加
3月2日	第2回災害時ネットワーク検討会開催 10名 参加

- ・9月21日（一社）いわふね青年会議所との災害協定締結
- ・職員の防災教育…防災士認定 3名

⑤ 日赤活動支援

- ・4月30日 おまくばクリーンボランティア（神林赤十字奉仕団）
- ・5月27日 荒川水防訓練に参加。村上市赤十字奉仕団、神林赤十字奉仕団、村上市安全奉仕団、村上無線赤十字奉仕団が参加
- ・町内および集落に回覧物等の掲示板設置事業

掲示板設置件数	2件	古渡路、片町
---------	----	--------

《地域福祉課》

☆目標

「誰もが安心して暮らすことができるまち」を目指して、地域での支えあいが広がるよう、住民主体のまちづくりを関係機関と連携し包括的な体制づくりを進める。

◎重点取組事業

(1) 住民相互の支えあい活動の推進

① 暮らし支えあい事業

	登録者数	実利用者数	利用回数
利用会員	219名 (+46名)	100名 (+49名)	1,747回 (+183回)
	登録者数	実活動者数	
協力会員	86名 (+15名)	56名 (+8名)	(前年度比)

職員相談等訪問 313件

- ・養成講座・研修会等

4月27日	協力会員研修会	19名
2月5日	協力会員研修会	20名

- ・4/5～3/31 「ささえあい村上」協力会員定例会 12回 延64名

② 「地域の茶の間」推進・支援事業

支所	設置数	開催回数	支所	設置数	開催回数
村 上	46カ所	488回	朝 日	19カ所	181回
荒 川	25カ所	552回	山 北	8カ所	76回
神 林	15カ所	184回	計	113カ所	1,481回
			前年度比	△4カ所	△8回

- ・レクリエーション・講話等支援活動 23カ所
- ・11月9日 地域の茶の間リーダー研修会 21人
- ・3月2日 地域の茶の間リーダーフォローアップ研修会 21人
- ・3月14、17、19日 地域の茶の間リーダーフォローアップ研修会 13人

③ 「地域福祉会」の支援【荒川地区】

- ・地域福祉会（28団体）で見守り活動等実施 3月16日（地域福祉会全体会議）

④ 一人暮らし等高齢者給食会

支所	実施回数	参加者数	支所	実施回数	参加者数
荒川	2回	96名	朝日	2回	98名
神林	2回	119名	山北	2回	162名
			計	8回	475名
			前年度比	±0回	+5名

(2) 要支援者の在宅福祉サービスの充実

① 配食サービス

支所	実施回数	実利用者数	配食数
神林	100回	41名	2,631食
朝日	97回	37名	2,225食
計	197回	78名	4,856食
前年度比	△3回	+4名	+905食

② 歳末たすけあい運動による「おせち料理」の配食 12月30日実施

- ・一人暮らしおよび高齢者世帯

支所	一人暮らし世帯	高齢者のみ世帯	計
村上	443食	265食	708食
荒川	103食	60食	163食
神林	83食	54食	137食
朝日	96食	82食	178食
山北	185食	90食	275食
計	910食	551食	1,461食
前年度比	+33食	+8食	+41食

- ・障がい者世帯

支所	計	支所	計
村上	46食	朝日	18食
荒川	13食	山北	20食
神林	8食	計	105食

（前年度比△12食）

③ 移送サービス事業（障がい者含）

支所	利用者数	延利用回数
朝日	38名	262回
前年度比	+1名	+35回

④ 理・美容費助成サービス

・高齢者

支所	利用者数	利用回数	支所	利用者数	利用回数
村 上	197名	492回	朝 日	77名	156回
荒 川	53名	143回	山 北	26名	52回
神 林	64名	169回	計	417名	1,012回
			前年度比	△95名	△92回

・障がい者

支所	利用者数	利用回数	支所	利用者数	利用回数
村 上	1名	1回	朝 日	3名	12回
荒 川	1名	3回	山 北	1名	4回
神 林	0名	0回	計	6名	20回
			前年度比	△3名	△3回

⑤ 高齢者等除雪費援助事業

支所	利用世帯数	延利用回数	支所	利用世帯数	延利用回数
村 上	14世帯	15回	朝 日	144世帯	161回
荒 川	1世帯	1回	山 北	99世帯	128回
神 林	2世帯	6回	計	260世帯	311回
			前年度比	+155世帯	+206回

※除雪1回あたり10,000円を上限として3回まで助成

⑥ 手話奉仕員・要約筆記派遣事業

・派遣事業

手話奉仕員派遣	39件	要約筆記派遣	42件
---------	-----	--------	-----

・手話奉仕員養成講座（入門課程）

7/6~8/22（15回）	参加者数	10名
---------------	------	-----

（延参加者数 143名）

⑦ 視覚障がい者支援事業（音声による広報等 録音活動）

31回

⑧ 車イス貸出事業

延利用回数	112回
-------	------

⑨ リフト付軽ワゴン車貸出事業

支所	延利用回数	前年度比
荒 川	119回	+57回

⑩ 敬老会委託事業

支所	助成町内	延利用者数
村 上	112カ所	5,511名
前年度比	±0カ所	+103名

※1人当たり1,500円助成

(3) ボランティアセンター事業

① ボランティアの基盤整備

ボランティア登録者数

支所	個人	団体		登録者計
		団体数	人数	
村 上	15名	19団体	255名	270名
荒 川	3名	16団体	233名	236名
神 林	10名	4団体	105名	115名
朝 日	5名	19団体	309名	314名
山 北	4名	6団体	74名	78名
計	37名	64団体	976名	1,013名
前年度比	5名	5団体	△8名	△3名

② ボランティアの活動支援

・社協デイサービス

瀬波すみれ荘	260名	さわらびセンター	374名
さくら荘	182名	デイサービス長津	259名
きわなみ荘・新きわなみ荘	63名	ゆり花荘	0名

- ・福祉施設イベントボランティア（6回） 101名
- ・福祉学習サポーター（6校） 10名
- ・点字通訳ボランティア（3回） 7名
- ・一人暮らし等高齢者昼食会（4か所） 272名
- ・ふれ愛フェスティバル 102名
- ・山北地区福祉まつり 21名
- ・外出支援ボランティア 262名
- ・朝日ボランティア連絡協議会（9団体） 236名
- ・お便りボランティア 9名
- ・24時間テレビチャリティーボランティア（3ヶ所） 53名
- ・古切手整理ボランティア（2回） 28名
- ・神林配食サービスボランティア（100回） 400名
- ・おもちゃの病院（14日） 126件
- ・傾聴活動（21回） 90名

③ ボランティア保険の加入促進

- ・団体加入 83団体 1,110名
- ・個人加入 9名

④ 各種ボランティア講座の開催

研修会・会議等の開催・参加

4月21日	「声のボランティア村上」総会	10名
	「朝日地区ボランティア連絡協議会」総会	43名
6月26日	24時間テレビ担当者打ち合わせ会議（新潟市）	1名
7月14日	「はじめてのボランティア講座」食事作り講座	19名
7月26日	「はじめてのボランティア講座」傾聴講座	17名
8月7日	「はじめてのボランティア講座」福祉学習サポーター養成講座	17名

11月15日	「はじめてのボランティア講座」手話講座	7名
11月21日	「はじめてのボランティア講座」点訳講座	7名
11月28日	「はじめてのボランティア講座」音声訳講座	10名
2月15日	「朝日地区ボランティア連絡協議会」研修会	57名
年間12回	「おもちゃの病院」開院日	132名
年間4回	「おもちゃの病院」定例会	107名
年間4回	傾聴ボランティア「すまいる」定例会	25名
年間5回	ボランティアポイント事業検討会	—

⑤ ボランティア連絡協議会の支援

7月21日	「村上市ボランティア連絡協議会」役員会	10名
8月1日	「村上市ボランティア連絡協議会」研修会	87名

(4) 福祉教育・人材育成のための事業

① 福祉教育

② 福祉協力校等支援

・福祉協力校活動支援事業

	小学校	中学校	高校
協力校数	19校	5校	2校

・高齢者疑似体験装具貸出事業

小学校	3校	中学校	1校	高等学校	1校
-----	----	-----	----	------	----

・福祉学習依頼校

小学校	4校	中学校	2校
-----	----	-----	----

③ 世代交流事業

保育園・町内	実施回数	参加者数	保育園・町内	実施回数	参加者数
第二保育園	1回	105名	高南保育園	1回	65名
金屋保育園	1回	112名	山北にじいろ保育園	1回	50名
みのり保育園	1回	106名	松原町2丁目	1回	40名
			計	6回	478名

④ ほのほのお便り事業

支所	暑中見舞い	年賀状	バースデーカード
荒川	—	285枚	—
神林	238枚	227枚	—
朝日	130枚	121枚	130枚

(5) 福祉団体等支援事業

① 共同募金運動の推進

共同募金配分金助成団体へ、共同募金のしくみ、使われ方等随時周知した 47か所

② 各種団体への支援

- ・老人クラブ連合会地区協議会の事務受託ならびに補助支援
- ・戦没者遺族会の事務受託ならびに補助支援
- ・身体障害者団体の事務受託ならびに補助支援
- ・一人暮らし友の会の事務受託ならびに補助支援

- ・民生委員児童委員協議会の事務受託ならびに補助支援
- ・村上市共同募金委員会の事業運営
- ・日本赤十字社新潟県支部村上市地区の事業運営
- ・ボランティア連絡協議会事業運営ならびに補助支援
- ・手をつなぐ育成会への協力
- ・朝日ミニハンディキャプ友の会事業運営ならびに補助支援
- ・東日本大震災被災者支援「むらかみ避難者サポートセンター」の支援

(6) 生活支援協議体、生活支援コーディネーター業務

村上市、村上地区、朝日地区の生活支援コーディネーター関連業務

- ・生活支援協議体の打合せ・会議・座談会・フォーラム等 137日稼働
- ・全体研修会・全体情報交換会 6月28日 12月11日 2月22日
- ・新潟県生活支援コーディネーター情報交換会 7月11日

《生活支援課》

☆目標

- ・市民が抱える様々な福祉相談に対して、福祉に関する情報提供や相談支援を行うとともに関係機関と連携し福祉の推進を図る。
- ・地域で安心して暮らし続けることができるよう、関係機関と連携して生活上の課題を持つ人の権利を擁護するための支援を進める。

◎重点取組事業

(1) 困りごとを気軽に相談できる体制の構築

① 心配ごと相談所事業

支所	開催回数	相談件数	支所	開催回数	相談件数
村 上	48回	40件	朝 日	48回	29件
荒 川	26回	9件	山 北	35回	10件
神 林	44回	38件	計	201回	126件

(前年度比△10件)

- ・各心配ごと相談所検討会 年間 19回開催
- ・村上市心配ごと相談所相談員全体研修会（タウンホテル村上）

② 資金貸付事業

- ・生活福祉資金等の貸付事業

支所	相談件数	貸付件数	支所	相談件数	貸付件数
村 上	12件	0件	朝 日	3件	0件
荒 川	1件	1件	山 北	0件	0件
神 林	3件	0件	計	19件	1件
			前年度比	△4件	△6件

- ・小口資金貸付事業

支所	相談件数	貸付件数	過年度未償還件数
村 上	29件	14件	16件
荒 川	1件	2件	15件

神 林	1件	2件	1件
朝 日	4件	5件	0件
山 北	2件	3件	3件
計	37件	26件	35件
前年度比	+1件	+9件	△8件

(2) 権利擁護活動の推進

① 日常生活自立支援事業

相談件数 22件 新規利用件数 4件 利用終了件数 1件

支所	生活支援員数	利用者数	利用回数
村 上	5名	7名	105回
荒 川	2名	2名	64回
神 林	3名	6名	117回
朝 日	2名	3名	44回
山 北	1名	1名	13回
計	13名	19名	343回
前年度比	△4名	±0名	△24回

② 法人後見開始準備

- ・相談件数 8 件
- ・村上市成年後見制度利用支援体制検討会及び研修会（計 1 2 回）
- ・新潟家庭裁判所へ法人後見受任団体登録申請書を提出
- ・3月29日に「第1回法人後見運営委員会」を開催

(3) 生活困窮者支援の推進

① 生活困窮者自立支援事業「生活支援センターむらかみ」

	前年度比
新規相談件数	130件 +22件
支援回数	1,990回 +1回
他制度の活用件数	63件 +6件
就労支援	18件 +5件
子どもへの学習支援	84回 -

・支援調整会議

	開催回数	延参加者数
全体会議	1回	22名
定例会議	12回	112名
新規プラン	17件	
再プラン	8件	
評価	30件	
終結	21件	
中断	1件	

・課内会議

年間 12 回開催	取扱ケース件数	56件
-----------	---------	-----

 (前年度比+16件)

・ケース会議

年間 7 回開催	取扱ケース件数	37件
----------	---------	-----

 (前年度比△75件)

・職員の講師等の派遣

7月28日	第一地区民生委員児童委員協議会研修会
10月7日	村上地域くらしとこころの総合相談会（第1回）
10月28日	にいがた公的扶助研究セミナー in むらかみ
12月2日	村上地域くらしとこころの総合相談会（第2回）
2月17日	村上地域くらしとこころの総合相談会（第3回）

《介護事業課》

☆目標

- ・介護保険事業所において円滑な業務を遂行していくために、人材の確保と育成を図り、安定した経営に努める。
- ・介護予防・日常生活支援総合事業の本格的な移行に伴い、また地域包括ケアシステムの一環として独自性のあるサービス提供を図り、地域により密着した事業所であるよう努める。
- ・住み慣れた我が家で自分らしく暮らし続けることができ、また、本人が望む生活を送ることができるように支援する。

◎重点取組事業

(1) 介護保険事業所の安定した経営を確立するために、新規利用者の確保に努めた

① 居宅介護支援事業

事業所	職員数	年間取扱件数	月平均	法人内サービス提供件数割合		要介護度別割合		
				訪問	通所	要支援1,2	要介護1,2	要介護3～5
むらかみ	3名	1,201件	101件	71.6%	48.5%	10.0%	60.0%	30.0%
あらかわ	3名	1,099件	92件	55.4%		19.0%	50.0%	31.0%
かみはやし	3名	1,034件	87件	90.1%	78.3%	20.0%	50.0%	30.0%
あさひ	5名	1,661件	139件	98.3%	72.8%	20.0%	50.0%	30.0%
さんぼく	3名	817件	69件	58.0%	98.0%	24.0%	47.0%	29.0%
計	17名	5,812件	488件	74.7%	74.4%	18.6%	51.4%	30.0%
前年度比	±0名	△121件	△7件	△0.4%	+0.6%	+2.7%	△0.1%	△2.6%

② 訪問介護事業

事業所	職員数	実利用者数	年間訪問回数	年間訪問時間	要介護度別割合		
					要支援1,2	要介護1,2	要介護3～5
むらかみ	11名	88名	10,730回	9684時間59分	29.7%	49.5%	20.8%
あらかわ	12名	35名	5,539回	4812時間58分	29.8%	39.5%	30.7%
かみはやし	9名	44名	6,123回	4405時間30分	19.5%	42.0%	38.5%
あさひ	8名	78名	8,360回	6092時間46分	15.9%	47.5%	36.6%
さんぼく	4名	37名	2,709回	2475時間40分	32.5%	40.5%	27.0%
計	44名	282名	33,461回	27471時間53分	25.5%	43.8%	30.7%
前年度比	△3名	△15名	+489回	△971時間56分	+4.5%	△4.1%	△0.4%

③ 訪問入浴事業

事業所	職員数	稼働日数	実利用者数	年間訪問回数
あさひ	6名	246日	35名	699回
前年度比	△3名	+29日	+9名	+162回

④ 通所介護事業

事業所	職員数	定員	年間延べ利用者数	日平均	稼働日数	要介護度別割合		
						要支援1,2	要介護1,2	要介護3~5
瀬波すみれ荘	23名	26名	6,916名	18.9名	365日	24.5%	40.6%	34.9%
さくら荘	26名	28名	7,650名	21.名	365日	13.8%	57.6%	28.6%
きわなみ荘	18名	25名	6,157名	19.8名	311日	14.0%	48.6%	37.4%
新きわなみ荘	15名	25名	5,563名	17.9名	311日	8.1%	49.5%	42.4%
さわらび	25名	30名	7,936名	25.5名	311日	7.5%	67.0%	25.5%
長津	19名	27名	5,984名	19.2名	311日	23.4%	55.3%	21.4%
ゆり花荘	20名	25名	6,365名	17.6名	361日	14.3%	60.9%	24.8%
計	146名	186名	46,571名	139.9名		15.1%	54.2%	30.7%
前年度比	±0名	+2名	+161名	△0.2名		△3.0%	+6.3%	△3.4%

⑤ 障害者自立支援法に基づく障害福祉サービス事業

・ 居宅介護事業（ホームヘルプサービス事業）

事業所	実利用者数	年間訪問回数	年間訪問時間
むらかみ	9名	617回	693時間15分
あらかわ	6名	1,182回	951時間30分
かみはやし	7名	870回	903時間15分
あさひ	3名	120回	193時間15分
さんぽく	4名	285回	323時間00分
計	29名	3,074回	3064時間15分
前年度比	△1名	△422回	△141時間45分

・ 同行援護事業（ホームヘルプサービス事業）

事業所	実利用者数	年間訪問回数	年間訪問時間
むらかみ	2名	80回	139時間00分
あらかわ	3名	36回	134時間30分
計	5名	116回	273時間30分
前年度比	△3名	△6回	△26時間30分

・ 行動援護事業（ホームヘルプサービス事業）

事業所	実利用者数	年間訪問回数	年間訪問時間
むらかみ	1名	13回	13時間00分
前年度比	±0名	△3回	△3時間00分

・重度訪問介護事業（ホームヘルプサービス事業）

事業所	実利用者数	年間訪問回数	年間訪問時間
あさひ	2名	2回	10時間00分
前年度比	+1名	△3回	△4時間00分

・村上市障害者移動支援事業（ホームヘルプサービス事業）

事業所	実利用者数	年間訪問回数	年間訪問時間
むらかみ	1名	3回	5時間30分
あさひ	1名	1回	5時間45分
さんぼく	1名	1回	9時間00分
計	3名	5回	20時間15分
前年度比	±0名	△9回	△23時間45分

・基準該当生活介護事業（デイサービスセンター事業）

事業所	実利用者数	年間延べ利用者数	月平均
ゆり花荘	5名	427名	35.6名
前年度比	±0名	△11名	△0.9名

(2) 職員体制の整備と職員確保に努めた

① 居宅介護支援事業

- ・主任介護支援専門員研修や更新研修、その他研修に積極的に参加し専門職としての質の維持・向上に努めた。

② 訪問介護事業

- ・人材不足の事業所が多く、新規利用の制限をせざるを得ない状況があり、人材確保が急務となっている。

③ 訪問入浴事業

- ・フルタイムでの職員およびパート職員の増員により、職場環境を整えることができた。

④ 通所介護事業

- ・毎日のミーティング等で職員の情報の共有に努めた。人員不足の事業所もあり、臨時職員の募集を継続していく。

(3) 法令を遵守し、円滑な業務遂行に努めた

① 居宅介護支援事業

- ・適切な取扱い件数で事業を実施し、丁寧なケアマネジメントを行うことができた。過誤調整に至る事案があり、その対策として書類は複数人体制でのチェックを徹底することとした。

② 訪問介護事業

- ・介護保険・障害福祉サービス事業とも適正に運営した。

③ 訪問入浴事業

- ・毎日のミーティング等で情報の共有に努め、円滑に運営することができた。

④ 通所介護事業

- ・ケアレスミス等が無いよう関係書類を整備し、記録については、誰が確認しても理解できるような文書表記になるよう指導した。
- ・業務マニュアルを整備してから5年が経過したので現状に合わせ見直しを行った。

(4) 在宅生活が継続できるよう、適切なサービス提供に努めた

① 居宅介護支援事業

- ・定例会議等で利用者の情報共有に努め、より質の高い支援ができるよう努めた。
- ・地域課題や求められている現状を把握するため、区長や民生委員、関係機関との連携に努めた。

② 訪問介護事業

- ・心身の状態や体調観察を徹底し、健康状態に変化があった場合は、居宅介護支援事業所等の関係機関に連絡し、在宅での生活を支援した。

③ 訪問入浴事業

- ・ケアプラン・計画書に沿ったサービスを提供し、在宅生活が継続できるように支援した。
- ・訪問時、介護についての助言や指導を行い、介護者の負担軽減に寄与した。
- ・ケアマネをはじめとする多職種と連携を密とし、在宅生活が継続出来るように支援した。

④ 通所介護事業

- ・家族の意向を尊重し、通所介護計画書に沿ったサービスを提供することによって、在宅での生活が継続できるように支援した。
- ・自主事業や一部事業所では開放日を開催し、地域に開かれたサービス事業を展開した。

(5) 職員に各種研修を促し、サービスの質の向上を目指した

① 居宅介護支援事業

- ・各種研修会について積極的に参加し、職員の資質の向上に努めた。
- ・2ヵ月に1回開催される包括支援センター主催の村上地域連絡会を通して、地域の課題や必要な情報収集に努めた。

② 訪問介護事業

- ・人員不足の中、勤務を調整し多くの研修に参加することができた。ヘルプステーションむらかみでは、特定事業所加算を算定していることから毎月定期的に内部研修を実施している。

③ 訪問入浴事業

- ・今年度は、外部研修の実施はほぼなかったが、定例会では問題点の共有を図ったことや利用先の他事業所職員に意見を聞くなどしてサービスの向上につなげた。

④ 通所介護事業

- ・接遇についての研修やスキルアップリーダー研修、モチベーションアップ研修、記録の書き方研修、感染症研修、スキルアップからメンタル面の研修まで幅広く行った。
- ・外部から講師を招き通所介護事業所全体の感染症予防研修を実施、各施設でも所属看護師を講師として感染症に関する研修会を実施した。

(6) 介護保険外事業の継続と拡充

① 市からの受託事業

・要介護認定調査受託事業（居宅介護支援事業）

事業所	年間調査 件数	月平均	事業所	年間調査 件数	月平均
むらかみ	19件	1.6件	あさひ	21件	1.8件
あらかわ	67件	5.6件	さんぼく	1件	-
かみはやし	57件	4.8件	計	165件	13.8件
			前年度比	△10件	△0.8件

・介護予防支援受託事業（居宅介護支援事業）

事業所	年間取扱 件数	月平均	事業所	年間取扱 件数	月平均
むらかみ	82件	6.8件	あさひ	259件	22.1件
あらかわ	161件	14.7件	さんぼく	146件	12.6件
かみはやし	159件	14.2件	計	807件	70.4件
			前年度比	△42件	△0.3件

・介護予防ケアマネジメント受託事業（居宅介護支援事業）

事業所	年間取扱 件数	月平均	事業所	年間取扱 件数	月平均
むらかみ	54件	4.9件	あさひ	123件	10.7件
あらかわ	95件	8.8件	さんぼく	116件	10.1件
かみはやし	94件	8.3件	計	482件	42.8件
			前年度比	+241件	+22.7件

※総合事業の訪問介護・通所介護のみ利用する介護予防件数

・軽度生活援助サービス（ホームヘルプサービス事業）

事業所	実利用者数	年間訪問回数	年間訪問時間
むらかみ	10名	409回	483時間00分
あらかわ	8名	195回	196時間30分
かみはやし	15名	903回	992時間00分
あさひ	6名	178回	206時間30分
さんぼく	3名	148回	200時間30分
計	42名	1,833回	2078時間30分
前年度比	+2名	△17回	+64時間30分

・要介護老人安否確認事業（ホームヘルプサービス事業）

事業所	安否及び 火災警報器 確認件数	救急キット 確認件数	事業所	安否及び 火災警報器 確認件数	救急キット 確認件数
むらかみ	725件	542件	あさひ	172件	13件
あらかわ	149件	143件	さんぼく	221件	17件
かみはやし	107件	37件	計	1,374件	752件
			前年度比	+207件	+302件

・シルバーハウジング生活援助員派遣事業（ホームヘルプサービス事業）

事業所	年間派遣日数	年間派遣回数	月平均訪問世帯数
むらかみ	244日	2,907回	11.9世帯
前年度比	+2日	+80回	+0.2世帯

・ゆーとぴあむらかみ事業（ホームヘルプサービス事業）

事業所	年間派遣日数	年間派遣時間	月平均
むらかみ	41日	282時間00分	3.4日
前年度比	±0日	±0時間	±0日

・湯ったり塾事業

事業所	年間延参加者数	月平均
山北支所	1,017名	84名
前年度比	△232名	△20名

② 自主事業

・介護保険外サービス（ホームヘルプサービス事業）

事業所	実利用者数	年間訪問回数	年間訪問時間
むらかみ	15名	303回	282時間30分
あらかわ	5名	280回	228時間00分
かみはやし	0名	—	—
あさひ	1名	4回	13時間00分
さんぼく	2名	2回	1時間30分
計	23名	589回	525時間00分
前年度比	△2名	+2回	△42時間00分

・生きがいデイサービス（デイサービスセンター事業）

事業所	年間利用者数	月平均
瀬波すみれ荘	45名	3.8名
さくら荘	68名	5.7名
計	113名	9.5名
前年度比	△92名	△7.6名

(7) 介護サービス事業等経営状況

① 居宅介護支援事業

(円)

事業所	前期末支払資金残高 A	当期資金収支差額 B	※Bの前年度比	(参考) 他事業拠出金	当期末支払資金 C=A+B
むらかみ	8,318,399	△ 1,501,247	△ 1,409,244	0	6,817,152
あらかわ	12,540,707	△ 4,280,137	△ 5,783,970	181,092	8,260,570
かみはやし	14,996,208	1,692,610	△ 1,558,461	0	16,688,818
あさひ	36,327,408	3,150,254	△ 489,976	0	39,477,662
さんぼく	△ 277,308	△ 4,331,355	△ 1,680,463	0	△ 4,608,663
計	71,905,414	△ 5,269,875	△ 10,922,114	181,092	66,635,539

② ホームヘルプサービス事業（障害福祉サービス含） (円)

事業所	前期末支払資金残高 A	当期資金収支差額 B	※Bの前年度比	(参考) 他事業拠出金	当期末支払資金 C=A+B
むらかみ	8,665,762	△ 831,739	3,283,499	0	7,834,023
あらかわ	25,543,875	1,546,214	915,260	0	27,090,089
かみはやし	1,484,640	687,847	△ 1,196,502	0	2,172,487
あさひ	17,819,909	△ 731,873	2,866,160	0	17,088,036
さんぼく	△ 18,298,976	△ 1,629,225	1,005,230	0	△ 19,928,201
計	35,215,210	△ 958,776	6,873,647	0	34,256,434

③ 訪問入浴事業 (円)

事業所	前期末支払資金残高 A	当期資金収支差額 B	※Bの前年度比	(参考) 他事業拠出金	当期末支払資金 C=A+B
あさひ	18,767,751	△ 1,143,238	△ 1,024,150	0	17,624,513
計	18,767,751	△ 1,143,238	△ 1,024,150	0	17,624,513

④ デイサービスセンター事業（障害福祉サービス含） (円)

事業所	前期末支払資金残高 A	当期資金収支差額 B	※Bの前年度比	(参考) 他事業拠出金	当期末支払資金 C=A+B
瀬波すみれ荘	5,103,855	△ 8,776,584	△ 3,492,271	0	△ 3,672,729
さくら荘	19,841,514	△ 2,011,051	7,028,493	0	17,830,463
きわなみ荘・新きわなみ荘	36,237,315	△ 5,535,570	△ 8,551,804	0	30,701,745
さわらび	30,712,556	947,350	465,008	0	31,659,906
長津	17,024,354	△ 9,769,805	△ 6,091,809	0	7,254,549
ゆり花荘	6,874,259	△ 1,322,948	△ 80,423	0	5,551,311
計	115,793,853	△ 26,468,608	△ 10,722,806	0	89,325,245

⑤ 総計 (円)

事業所	前期末支払資金残高 A	当期資金収支差額 B	※Bの前年度比	(参考) 他事業拠出金	当期末支払資金 C=A+B
居宅介護支援	71,905,414	△ 5,269,875	△ 10,922,114	181,092	66,635,539
ホームヘルプ	35,215,210	△ 958,776	6,873,647	0	34,256,434
訪問入浴	18,767,751	△ 1,143,238	△ 1,024,150	0	17,624,513
デイサービス	115,793,853	△ 26,468,608	△ 10,722,806	0	89,325,245
計	241,682,228	△ 33,840,497	△ 15,795,423	181,092	207,841,731

注1：「当年度の利益額」＝「当期実績額B」＋「（参考）拠出金」

【別表】

○ 各課参加研修一覧

≪総務課関係≫

5月17日	安全運転管理者研修会（村上市）
6月13日	県社協「評議員会」（新潟市）
6月22日	障害者雇用納付金関係業務調査（村上市）
6月30日	県社協「事務局長会議」（新潟市）
9月5日	公正な採用選考に係る研修会（村上市）
9月14日 ～15日	県社協「市町村会長視察研修」（柏崎市）
9月16日 ～17日	新発田市社協 災害ボランティアセンター設置訓練（新発田市）
10月10日	村上市褒章委員会（村上市）
10月17日 ～18日	新潟県民福祉大会（妙高市）
10月25日	苦情解決責任者研修会（新潟市）
11月7日	温泉旅館組合オーナー会議（村上市）
11月9日 ～10日	県社協「事務局長会議」（魚沼市）
11月20日	社協役員・市議会市民厚生委員会委員との意見交換会（村上市）
12月8日	県内災害ボランティア担当者会議（新潟市）
3月27日	県社協「評議員会」（新潟市）

≪地域福祉課関係≫

4月14日	神林地域活性化協議会（村上市）
4月18日	神林地区民児協 定例会
4月26日	山北地区民児協 定例会 おしゃべりカフェ（村上市）
5月17日	神林長寿大学 学習会（村上市）
5月22日	村上第2地区民児協 定例会（村上市）
6月9日	ボランティアコーディネータ研修会（柏崎市）
7月3日 ～4日	神林地区民児協視察研修（秋田県）
7月26日	地域福祉推進セミナー（燕市） おしゃべりカフェ（村上市）
9月11日	移動サービス研修会（村上市）
9月22日	地域福祉担当者研修会～社協が生活支援体制整備事業に取り組む意義（長岡市）
11月7日	村上第3地区民児協おせち事業説明（村上市） 神林地域活性化協議会（村上市）
11月9日	介護予防講演会（村上市）
11月19日	介護者の集い（新潟市）
11月22日	買い物支援事業研修会（村上市）
11月24日	村上第2地区民児協、神林地区民児協おせち事業説明（村上市）
12月4日	村上第1地区民児協 おせち・雪下ろし事業説明（村上市）
12月7日	山北地区民児協 おせち・雪下ろし事業説明（村上市）

12月15日	荒川地区民児協 おせち・雪下ろし事業説明（村上市）
12月21日	朝日地区民児協研修会 おせち・雪下ろし事業説明（村上市）
2月20日	神林地域活性化協議会（村上市）
3月14日	おしゃべりカフェ（村上市）
毎月1回	生活困窮者支援調整会議（村上市）

《生活支援課関係》

（生活福祉資金関係）

7月26日	生活福祉資金事務担当者研修（第1回）（新潟市）
9月27日	生活福祉資金にかかる意見交換会（村上市）
2月14日	生活福祉資金事務担当者研修（第2回）（新潟市）

（日常生活自立支援事業関係）

4月28日	日常生活自立支援事業新任専門員研修会及び第1回専門員会議（新潟市）
7月4日	第1回日常生活自立支援事業契約締結審査会（新潟市）
7月18日 ～19日	日常生活自立支援事業専門員実践力強化研修Ⅰ（東京都）
9月21日	日常生活自立支援事業市町村社協移行推進会議（新発田市）
10月20日	第2回日常生活自立支援事業専門員会議（新潟市）
11月15日	日常生活自立支援事業生活支援員研修会（村上市）
2月7日	第2回日常生活自立支援事業契約締結審査会（新潟市）
2月7日	第3回日常生活自立支援事業専門員会議（新潟市）
3月12日	日常生活自立支援事業生活支援員研修会（新潟市）
年間1回参加	村上市高齢者虐待ネットワーク会議

（生活困窮者自立支援事業関係）

4月25日	下越地区生活困窮者自立支援担当者会議（新発田市）
5月11日	下越地区生活困窮者自立支援事業協議会第1回（新発田市）
5月19日	生活困窮者支援制度新任相談支援員研修会（新潟市）
5月30日	新発田・村上地域生活保護受給者等自立促進事業協議会（新発田市）
7月31日 ～8月2日	自立相談支援事業従事者研修（厚生労働省委託事業） 【前期】相談支援員養成研修（東京都）
9月13日	生活保護ケースワーカー・自立相談支援機関支援員研修会（新潟市）
10月10日 ～13日	就労準備支援事業者養成研修（厚生労働省委託事業）（東京都）
10月18日 ～20日	自立相談支援事業従事者研修（厚生労働省委託事業） 【後期】相談支援員養成研修（神奈川県）
12月5日	下越地区生活困窮者自立支援事業協議会第2回（新発田市）
12月21日	子どもの学習支援フォーラム（新潟市）
1月24日	自立相談支援機関支援員等研修会（新潟市）
3月9日	市町村社協生活困窮者自立支援事業担当者等情報交換会（新潟市）

（成年後見制度関係）

6月15日	成年後見制度担当者研修会（新潟市）
6月15日	成年後見制度市町村長申立推進研修会《基礎編》（新潟市）
8月2日	法人後見実施社協等による意見交換会（新潟市）
10月30日	成年後見制度推進連絡研修会（新発田市）
11月16日	家事関係機関と家庭裁判所との連絡協議会（新潟市）

12月11日	法人後見先進地視察研修（柏崎市）
12月21日	村上市成年後見制度講演会（村上市）
1月25日	村上市権利擁護部会研修会（村上市）
2月20日	成年後見制度法人後見推進研修会（新潟市）
2月27日 ～28日	成年後見制度法人後見推進研修会（新潟市）
3月29日	法人後見実務研修
年間2回参加	村上市成年後見制度利用支援体制検討会

《介護事業課関係》

（居宅介護支援）

4月19日	認知症と医療連携を考える会研修（村上市） ①医師会主導による地域医療連携の構築 ②もう迷わない・抗認知症薬の使い分け
5月17日～18日 5月24日～25日 6月6日～7日 6月12日～13日	平成29年度 新潟県主任介護支援専門員「更新研修」（新潟市）
5月29日	「緩和ケア」は必要なのか（村上市）
7月10日	坂町病院地域医療介護連携勉強会（村上市）
7月11日	在宅ケア関係者のための神経セミナー（新発田市）
7月18日～19日	平成29年度 新潟県介護支援専門員「更新研修・専門研修」（長岡市）
8月3日～5日	”（新潟市）
8月16日～18日	”（新潟市）
8月5日	「利用者本人を理解するための研修会」（胎内市）
9月2日	第12回「村上・岩船地域の医療を考えるフォーラム」（村上市）
9月15日	平成29年村上市・関川村介護支援専門員研修会（村上市）
10月2日	坂町病院地域医療介護連携勉強会(村上市)
10月11日	平成29年度認定調査員現任研修（新潟市）
10月23日	平成29年村上市・関川村介護支援専門員研修会（村上市）
10月25日	平成29年度新潟県介護支援専門員実務研修実習指導者事前研修会（新潟市） 平成29年度居宅介護支援事業所集団指導（新潟市）
10月26日	拡大講演会「がん終末期の在宅医療を考える」（村上市）
11月1日～2日 11月20日～21日	平成29年度新潟県介護支援専門員「更新研修」（新潟市）
11月9日	拡大講演会「地域におけるリハビリテーション専門職の活用と連携について（村上市）
11月21日	村上市荒川支所衛生委員会研修会「身に付けて活かす応急手当」（村上市）
11月30日	平成29年度村上・岩船地域認知症対応力向上研修（村上市）
12月12日	平成29年度在宅医療普及講演会「平穏死におけるレッスン」（村上市）
1月12日	新潟県介護支援専門員協会ブロック研修会「業務の押さえ所」（胎内市）
1月26日	村上・荒川地区合同事例検討会（村上市）
2月26日 3月19日	緩和ケア学習会（村上市）
3月14日	平成30年度介護報酬改定に係る事業説明会（新潟市）

(訪問介護)

5月25日	第1回ヘルパーステーションむらかみ・かみはやし合同研修会(村上市) 「障害についての理解～発達障害～」
7月21日	第2回ヘルパーステーションむらかみ・かみはやし合同研修会(村上市) 「感染症～尿路感染～」
8月1日	平成29年度第1回暮らし部会(村上市)
8月2日	平成29年度第1回要支援者・高齢者を取り巻く救急医療体制検討会(村上市)
8月17日 ～18日	平成29年度新潟県強度行動障害支援者養成研修(新潟市)
8月30日	平成29年度下越地区「口腔ケア研修会」(新発田市)
9月12日 ～14日	サービス提供責任者研修会(新潟県)
9月21日	第3回ヘルパーステーションむらかみ・かみはやし合同研修会(村上市) 「口腔ケア実施研修」
10月12日	平成29年度訪問介護事業集団指導(新潟市)
11月28日	平成29年度障害福祉サービス事業者集団指導(新潟市)
12月11日	平成29年度第2回暮らし部会(村上市)
12月11日 ～12日	平成29年度新潟県強度行動障害支援者養成研修(新潟市)
1月22日	平成29年度第2回要支援者・高齢者を取り巻く救急医療体制検討会(村上市)
3月6日	平成29年度要介護者等口腔保険検討会(村上市)
3月13日	発達障害研修(村上市)
3月14日	平成30年度介護報酬改定に係る事業説明会(新潟市)
3月23日	障害者総合支援法等関係説明会(新潟市)

(通所介護)

5月29日	緩和研修会(村上市)
7月3日	接遇研修会(新潟市)
7月11日	在宅ケア関係者のための神経難病セミナー(新発田市)
7月12日	患者等搬送事業乗務員研修定期講習会(新発田市)
9月1日	認知症ケア・対応研修(新潟市)
9月6日	第1回感染症研修会(さくら荘)
9月9日	平成29年度実務研修公開講座(村上市)
9月12日	コミュニケーションスキルアップ研修(新潟市)
9月20日	第2回感染症研修会(さわらびセンター)
10月25日	平成29年度通所介護集団指導(新潟市)
10月27日	介護事業所リハビリ講習会
11月1日	インフルエンザ強化対策(村上市)
11月20日	褥瘡予防の基本(村上市)
12月11日	モチベーションアップ研修(新潟市)
3月7日	地域包括ケア&高齢者ソフト食セミナー(新潟市)
3月14日 ～15日	平成30年度介護報酬改定に係る事業説明会(新潟市)